

開会式



開会式では、高円宮妃殿下のお言葉をはじめ、多くのご来賓から祝辞を戴きました。
えーと、大田区団はどこに整列してるかな～。
さあ、いよいよ【全国大会・イン松山】のスタートです。



参加の団員たちと、交流会の開始です。
手づくりの名刺には、何が書いてある？
また、次の大会で逢いましょうね！
様々な想いを残し、無事帰京しました。



松山と言えば、日本三古湯の道後温泉。
市内名物の【坊ちゃん列車】で着いた先が
道後温泉館、い〜い湯だなあ、でした。
もちろん、高〜い松山城も見ましたよ。

☆第50回・鹿児島大会（2011年・平成23年）

やって来ました。前の大会が四国・松山市で開催され、今度はさらに遠い九州・鹿児島ですが、鹿児島で開催される全国大会は、第28回の大会から32年振りとなります。九州での開催は、沖縄大会を含めて8回目となります。



ついに来ました、うしろに見えるのは、あの有名な活火山の桜島です。遠く各地からやって来た、たくさんの海洋少年団員たちを歓迎して、噴煙を吹きあげています。

誰が、プラカードを持つの？ 地元高校生のお姉さんお手伝いしてくれました。



開会式



ロープ競技・元村団員



日本連盟名誉総裁・高円宮妃殿下より、お言葉を戴いて開会式が始まります。
鹿児島の方言で、

- ・「ひつとべ」とは、思い切って行け!
- ・「ぼっけもん」とは、挑戦心のある、元気な人。・・・と言う意味だそうです。

ロープ競技・亀元団員



かごしま水族館で、サメに触りました!



ここは、【霧島屋久国立公園】、何と言っても【桜島】ですね。
パレードで頑張った、大田区団音楽隊の隊員と一緒に記念撮影をしました。

☆第51回・東京 大会 (2013年・平成25年)

この大会は、東京都で33年ぶりに開催されたもので、運営にあたっては都内団および近県の各団が、日本連盟と協力し合って実施しました。

大田区団からは代表団・音楽隊の他に、OSF会から12名の会員が、大会実行委員として参加して、開・閉会式・入場行進・宿泊・撮影・救護・行事という、重要な仕事を担当して大会の成功に努力しました。

第1日

メイン会場となった、オリンピック記念青少年総合センターでの代表団と音楽隊。



開会式前夜、団員が実行委員を直撃。

写真と救護を兼務、OSF安倍実行委員。



第2日 開会式

入場行進する大田区代表団と、演奏する大田区団音楽隊。(兼・日本連盟音楽隊)
あれっ、どうして手と足が・・・まっいいか！



司会の大役はOSF内山実行委員。 号令担当はOSF増田実行委員(現副隊長)。
内山委員(白服)は、制服がよく似合っていますね、現役への復帰も視野に入ります。



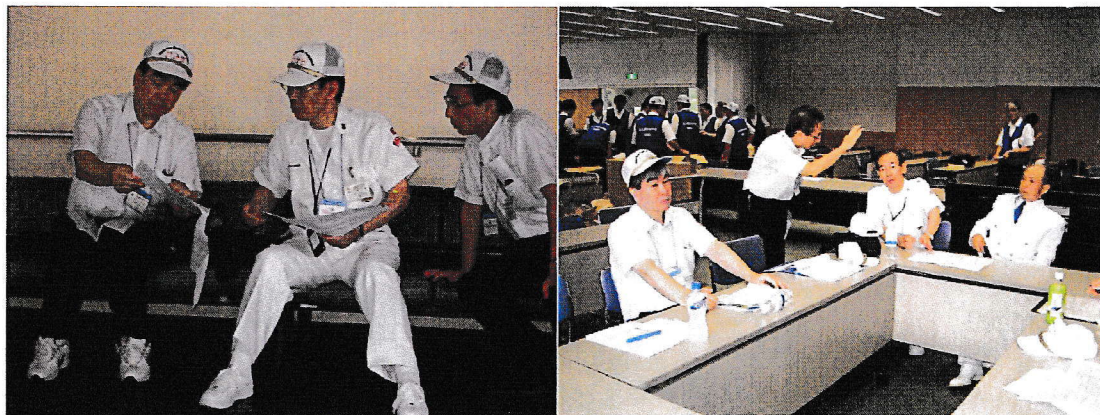
高円宮妃殿下とご懇談の大田区代表団。
2012年観閲式でもお言葉を戴きました。

今夜も、OSF実行委員と反省会です。
明日は忙しいから、早く寝ましようね。



大会の舞台裏では、打合せに余念がないOSF実行委員の皆さん。

調整役のOSF三渡会長（副団長）と、安間・大井各実行委員、堀川・日連実行委員長。



疲れたなあ、撮影担当の月村・安倍実行委員と、本部詰めIT担当の増田実行委員。



音楽隊スナップ

第1日目 オリンピック青少年センターに入館する前、東京港晴海ふ頭に入港した、航海訓練所・練習船「海王丸」の入港式に、日本連盟・草刈会長と一緒に、音楽隊員代表の3名（左）が花束を贈りました。（右）は、開会式に備える音楽隊員たち。



最終日

豊洲公園に、女優・川島海荷さんを迎えて、カッター応援会を開催した後で移動して、カッター競技に向かう団・東京海洋大学・練習船海王丸の見学等、夫々のコースに分かれて日程を進め、海洋大学のグラウンドで閉会式に臨みました。

川島海荷さんと応援合戦。

練習船・海王丸を見学する音楽隊員。



閉会式の演奏を前に整列する音楽隊。

閉会式グラウンドで待機の団員たち。



こうして、長いようで短くもあった「第51回東京大会」も、無事に終了しました。本大会の実行委員会のうち、半数以上の13名が大田区団役員・OSF会員であったと言う事は、大田区海洋少年団60年の歴史に刻まれ、また讃えられていく事でしょう。

・【大田区団 実行委員氏名】 順不同

安藤日出男・三渡祥晃・高橋 守・安藤和正・安倍賢司・安間好昭・内山隆雄・大井和正・松山 戒・安藤宗孝・月村章一・増田敏男・亀元智仁 以上13名

それぞれの仕事を調整して戴き、ご協力下さった皆様に感謝申し上げます。

東京地区連盟・行事と訓練の参加記録

全国の海洋少年団は、地域毎に幾つかのブロックに分かれて、地区連盟を構成していますが、関東では東京を除く各県（神奈川・千葉・茨城・静岡）が関東地区連盟を、東京都内の7団が「東京地区連盟」を構成し、様々な地域活動をしています。佐藤音楽隊長・石井名誉団長は、長く歴代の東京地区連盟の会長を務められました。

①東京地区連盟大会

幾つかの活動のうち、2年に1度全国大会の開催されない年には、東京地区連盟大会を開催してきましたが、10年間を遡って記録写真を紹介致します。

2004年8月 梶原村・都民の森

東京の水源地の一つである奥多摩・梶原村、かつて東京の秘境とも呼ばれて、今もなお合掌造りの建物が見られる地域も、東京都民の憩いの場として整備が行われています。

昭和40年頃には、大田区団の夏期キャンプに何度も訪れたので、とても懐かしい場所のひとつです。

・開会式で整列の都内団。

・石井都連会長の訓示。



・この先が、宿泊研修施設です。

・ハイキングから戻った参加者。



2006年7月 晴海・海員会館

東京地区連大会には、日本連盟が行なう国際交流の一環として、海外の海洋少年団から代表団を招待して、大会期間中に日本の団員たちと行動を共にします。

全国大会を含めて、今まで数ヶ国の代表団が来日し、交流を深めてきましたが、これからも永く続けられていきます。

・カナダ代表と石井会長。



・挨拶する香港の代表団。



・挨拶するカナダ代表団。



・地図を前に交流する参加者。



・手旗競技の説明を受ける参加者。



・閉会式後の記念撮影。



2008年8月 伊豆大島

今まで、大田区団をはじめ東京の海洋少年団が、伊豆七島の中で最も数多く訪れた事の多い島は、伊豆大島ではないでしょうか。

古くは、第8回全国大会の開催から、毎年恒例で大晦日の深夜に出航する「三原山・初日の出登山」、そして今までも東京地区連大会などで、何度となく親しんで参りました。

・早朝、岡田港に到着の都内団。



・大田区団代表は、少し眠たさそう。



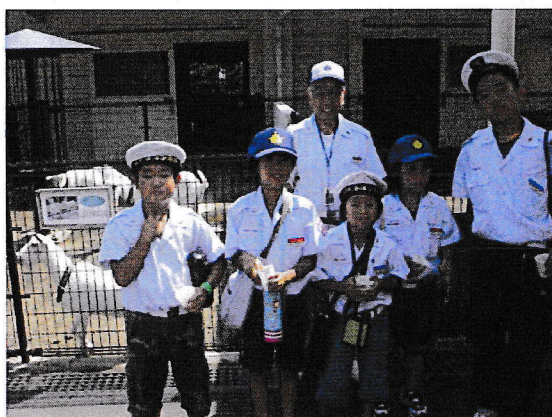
・海水浴に行きました。



・定番の三原山登山。



・動物園もあるのです。



・閉会后、帰りの便を待つ参加者。

